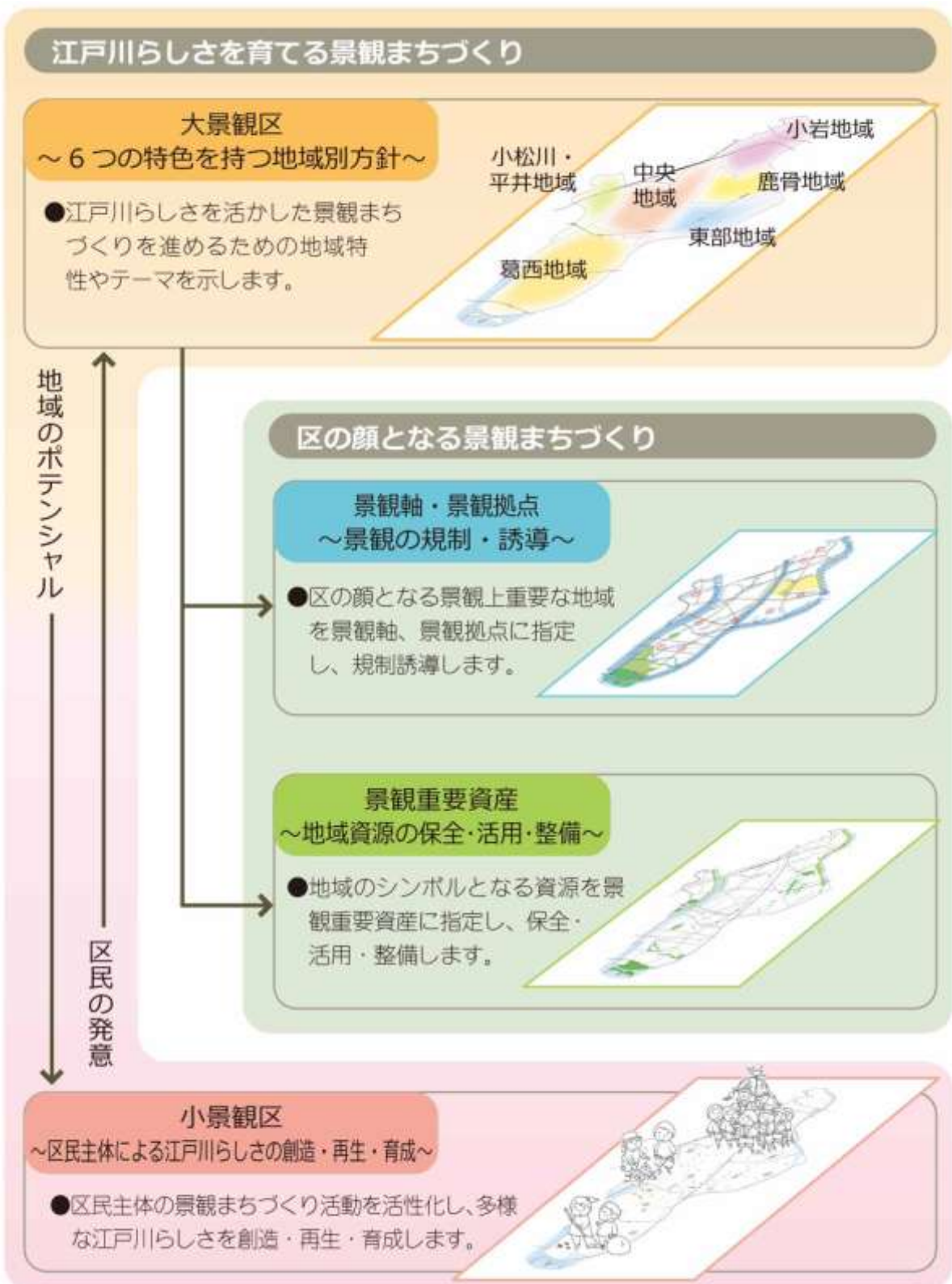


第4章 計画の枠組み

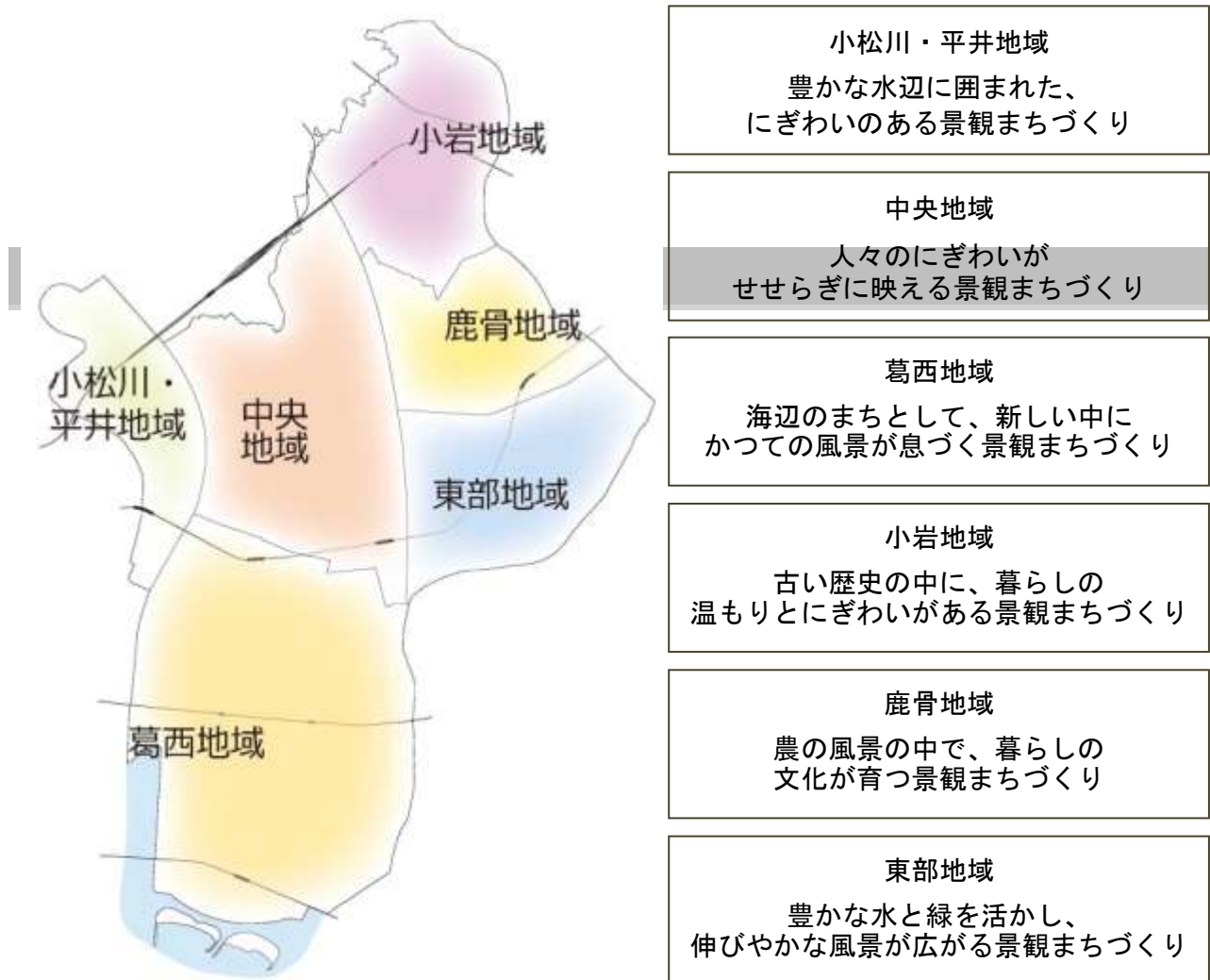
水と緑の資源を活かした景観の形成（江戸川区街づくり基本プラン）



第2節 大景観区 ～6つの特色をもつ地域別方針～

本区には地域ごとに異なる多様な江戸川らしさがあります。それら地域ごとの特色を活かした景観まちづくりを進めるため、地勢的条件や市街地形成の歩み、これまで培われてきたコミュニティの状況を踏まえ、6つの事務所管轄区域を大きな景観のまとまりとしての「大景観区」を設定します。それぞれ本計画の目標及び基本方針をふまえ、大景観区ごとのまちづくりの方向性を示し、それぞれのまちで多様な江戸川らしさのある景観まちづくり(小景観区のまちづくり)を進めるものとします。

また、小景観区のまちづくりが活発になるとともに、方針に反映し、まちごとの色々なカラーが引き立つ、多色刷りの本区を目指します。



小松川・平井地域

(1) 景観まちづくりのテーマ

豊かな水辺に囲まれた、にぎわいのある景観まちづくり

本地域は、荒川、旧中川の水辺に囲まれた地域で、本区の西端に位置しています。その立地から旧中川対岸の江東区や墨田区とのつながりが強く、大正初期には江東工業地帯の外縁として工場が集中立地するなど、早い時期から都市化が進みました。その後、荒川放水路の開削工事により平井駅が現在の位置に移転し、昭和10年頃には、小松川新町(現小松川二丁目付近)方向から北へ延びた商店と、総武線の電化後に発展した平井駅南側付近の商店が結合して、区内第一の商店街に発展しました。

昭和40年代になると、大中規模工場が区外に移転し、跡地に高層住宅が建設されるようになり、小松川防災拠点として小松川地域一帯で市街地再開発事業が行われるなど、住宅地を主体に商業地や工業地が混在するまちなみが形成されています。

また、平井聖天や善通寺などの寺社、逆井の渡し跡や小名木川水門など、多くの歴史的・文化的資源が点在していることや、小松川千本桜や大島小松川公園、広大な荒川河川敷の平井運動公園など、多くの人が集まり、憩える場が多いことも特徴です。

このような豊かな水辺環境が育んだまちの資源を大切にするとともに、多くの人が集まる商店街や公園等のある環境を活かし、「豊かな水辺に囲まれた、にぎわいのある景観まちづくり」を進めます。

《小松川・平井地域の特性》

●小松川地区

京葉道路より南側の地域で、市街地再開発事業により、大規模団地、工業地、大規模公園等が整備され、小松川防災拠点として近代的なまちが生まれました。また、荒川河川敷の小松川千本桜などの花の名所も整備されるなど、水辺に囲まれた緑豊かなまちなみが形成されています。

●平井地区

京葉道路より北側の地域で、昭和30～40年代に建設された木造住宅が多く、共同住宅の割合が大きいまちなみとなっています。平成7年の平井駅前北口広場や120号線事業などの公共の基盤整備が進んでいます。

(2) 景観まちづくりの方針

基本方針にもとづき、小松川・平井地域における景観まちづくりの方針を以下にまとめます。

1) 親水空間を活かした楽しさあふれる水と緑の景観

- ・空と水辺が一体となった広大なオープンスペースを活かし、多様な動植物が生息する荒川・中川の自然のパノラマ景観を守ります。
- ・開放感あふれる空間の中で様々なレクリエーションを楽しみ、多世代が憩う都立大島小松川公園や荒川河川敷の景観を守り育てます。
- ・小松川千本桜を地域が一体となって保全・育成し、花の名所として区内外の人々が楽しめる景観を育てます。
- ・共同住宅の玄関付近やベランダ、屋上などの小さなスペースを有効に利用して緑化を進めます。
- ・公園・広場・ポケットパークなどの公共空間を「地域の庭」として活用を進め、身近な花や緑の景観を育てます。
- ・周囲を親水空間に囲まれた特性を活かし、四季を通じて人々が集い、親しむ水と緑のネットワークを拡充します。



荒川堤防

2) 水辺の歴史・文化を今に伝える景観

- ・平井聖天やその周辺に点在する寺社や平井の渡し跡などを活かし、歴史を感じる景観まちづくりを進めます。
- ・平井一丁目付近の寺社集積地の歴史的・文化的資源を景観まちづくりに活かします。
- ・荒川・旧中川の合流地点周辺に点在する渡し跡や旧閘門など、水とともに発展してきた本区の歴史を伝える資源を景観まちづくりに活かします。
- ・戦火の中焼け残った旧小松川文書庫を平和の尊さを後世に伝える貴重な資源として保全し、景観まちづくりに活かします。



平井聖天

3) 新しさと歴史が調和するまちなみの景観

- ・小松川地区では、防災拠点として生まれ変わった緑豊かな新しいまちなみの景観を育てます。
- ・平井駅周辺を地域の玄関口として、区内屈指の商店街として発展してきた平井らしさを活かしたにぎわいの景観を育てます。
- ・JR 総武線や都営地下鉄新宿線の車窓からの景観を意識したまちなみをつくります。
- ・蔵前橋通り、京葉道路、補助 120 号線など、本区の顔として風格ある幹線道路のまちなみの景観を整えます。
- ・多くの人が集まる小松川さくらホールや小松川事務所等の公共施設では、江戸川らしさを活かしたにぎわいのある景観を育てます。
- ・地域の活動拠点であるコミュニティ会館、学校では、生き生きと活動する区民の姿が引き立つ、親しみのある景観を育てます。
- ・川を通じて多くの人が親しめる地域のランドマークとして荒川ロックゲートを活かします。



小松川大規模団地の風景

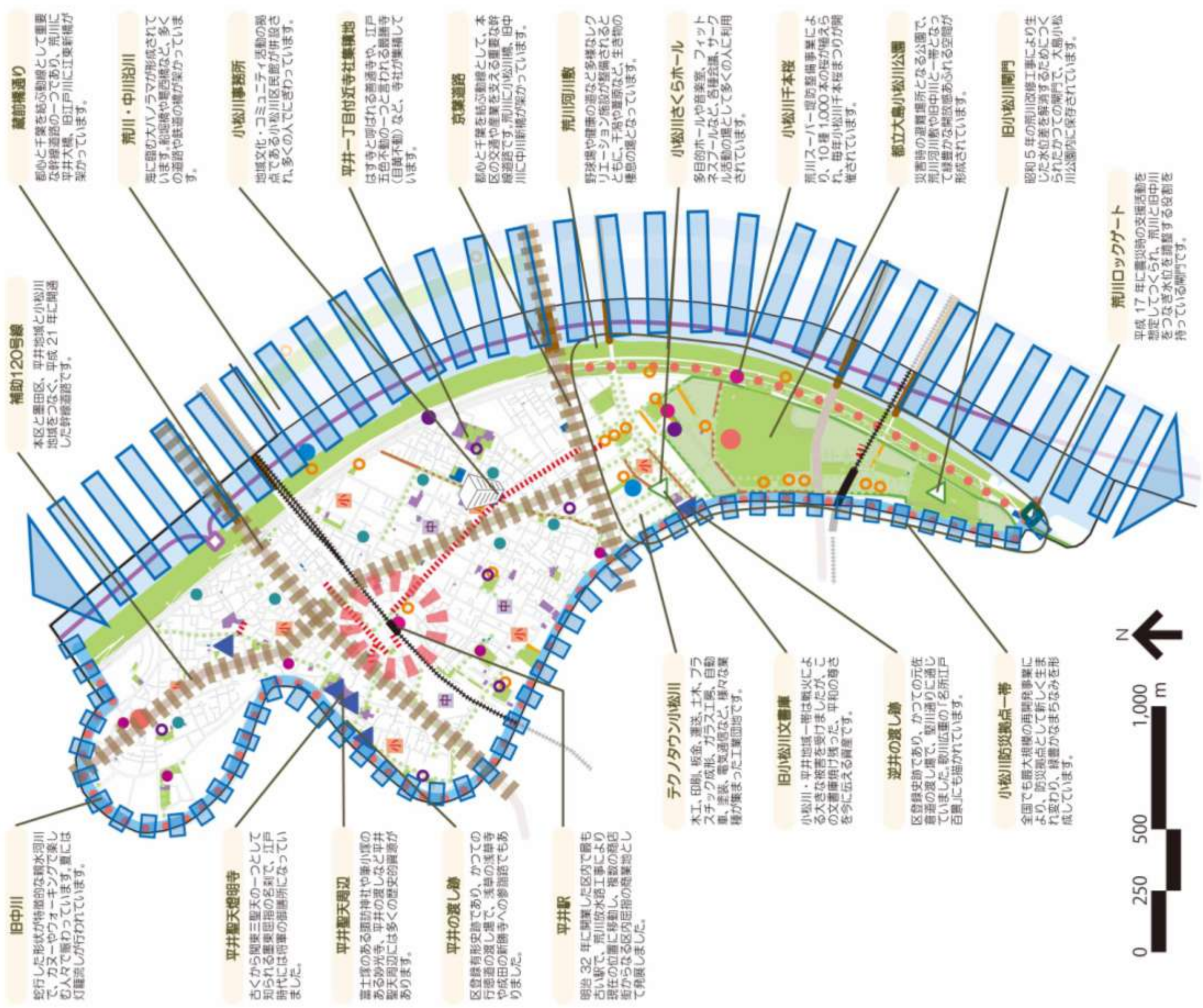
4) 暮らしの中で育まれるにぎわいの景観

- ・荒川堤防の小松川千本桜まつりをはじめ、旧中川の灯籠流し、平井駅前の正月用花の展示即売会など、四季を感じるイベントや催しによる景観を育てます。
- ・平井駅周辺を中心に南北に延びる平井駅通り沿道や、団地内などの商店街では、安心して歩いて楽しめるにぎわいの景観を育てます。
- ・テクノタウン小松川など、地域産業のある景観を大切にします。
- ・荒川河川敷や大島小松川公園、身近な公園など、多様な公園・緑地を活かし、子どもたちが安心して遊び・学べる環境をつくり、にぎわいある景観を育てます。



小松川千本桜 桜祭り

(3) 景観まちづくり方針図



中央地域

(1) 景観まちづくりのテーマ

人々のにぎわいが、せせらぎに映える景観まちづくり

中央地域は、荒川と新中川に挟まれた新大橋通り以北の地域で、小松川境川親水公園と一之江境川親水公園の2本の親水公園が地域の中心を流れています。

昭和7年の本区誕生の頃から一部の地域に工場が進出して徐々に都市化が進み、現在は中央・松江地区を中心に町工場と住宅が混在する、職住近接のまちなみが形成されています。

また、環状七号線、船堀街道、京葉道路などの幹線道路や、今井街道、千葉街道などの旧道の沿道には、商業が集積し、多くの人でにぎわう景観が形成されています。

このように、本地域ならではの産業の活気や、道行く多様な人々の往来を活かし、「人々のにぎわいが、せせらぎに映える景観まちづくり」を進めます。

《中央地域の特性》

●松島・東小松川地区

船堀街道以西から中川までの地区で、中心部に小松川境川親水公園が流れています。沿線には寺社が集積するまちなみや、低層の木造住宅が密集するまちなみがあり、狭あい道路や不整形な街区が多いのが特徴です。また、JR 総武線新小岩駅に続く船堀街道を中心に商業集積が進み、沿道型の商店街が形成されています。

●中央・松江地区

本地域の中央部の地区で、区役所や総合文化センター、図書館などの公共施設が集積している中央一丁目付近が区を中心として発展するとともに、金属、機械等の工場が急増し、区の主要な工業集積地が形成されています。近年では工場の共同住宅への転換が多く、住工が混在する特殊なまちなみが形成されています。

●本一色・大杉・一之江地区

本地域の東部に位置し、昭和40年代以降に都市基盤整備が進み、戸建て開発などによる住宅地が広がっていますが、今なお農地が点在する景観が残っています。また、中央部には環状七号線があり、沿道に中高層建物が並ぶまちなみが形成されています。

(2) 景観まちづくりの方針

基本方針にもとづき、中央地域の景観まちづくりの方針を以下にまとめます。

1) 2本の親水公園を軸とした水と緑の景観

- ・空と河川が一体となった、荒川・中川、新中川の自然のパノラマ景観を守ります。
- ・豊かな生き物の生息環境を保全し、多世代が憩う中堤防や河川敷の景観を守り育てます。
- ・緑の少ない地域では、共同住宅の玄関付近やベランダなどの空間、屋上などに緑を増やし、水と緑の景観を育てます。
- ・緑の多い地域では農地や大木を保全し、緑豊かな景観を守ります。
- ・公園・広場・ポケットパークなどの公共空間を「地域の庭」として活用を進め、身近な花や緑の景観を育てます。
- ・親水公園を軸とした多様な親水空間と、点在する花の名所などの緑の拠点をつなげ、人々が集い、親しめる水と緑のネットワークを拡充します。



中央森林公園

2) かつての人々の往来や暮らしを感じる歴史・文化の景観

- ・区登録史跡である仲台院や筆小塚のある西蓮寺、旧葛西学校跡のある善照寺などの寺社をはじめ、緑の多い大きな屋敷が多く残る小松川境川親水公園沿線寺社集積地の景観を守り育てます。
- ・寺社や農地、大木、屋敷林、仕立てた樹木などを持つ民家、農地など、本区の原風景と言える歴史的・文化的景観が残る一之江境川親水公園沿線寺社集積地の景観を守り育てます。
- ・かつての人々が往来し、にぎわった歴史を今に伝えるため、今井街道、千葉街道、五分一通りなどの旧道の歴史を活かします。
- ・点在する寺社や石碑、大木、葛西囃子など、歴史的・文化的資源を活かします。



五分一通りの民家

3) 職住近接の商工業が調和するまちなみの景観

- ・環状七号線を挟んで新しいまちなみと農や屋敷林が残るまちなみが共存する一之江駅周辺を、まちの玄関口として、人々が交流するにぎわいある景観を育てます。
- ・松島など、新小岩駅を中心に形成されている商業地を活かし、にぎわいある景観を育てます。
- ・区役所や総合文化センター、グリーンパレス等の文化施設集積地では、小松川境川親水公園と一体となった、文化を発信する拠点としての景観を育てます。
- ・松江・中央地区の町工場の集積地では、周辺の住宅とこれらの町工場が調和したまちなみの景観を育てます。
- ・JR 総武線の車窓からの景観を意識したまちなみをつくれます。
- ・船堀街道、京葉道路、環状七号線など、本区の顔として風格ある幹線道路のまちなみの景観を整えます。
- ・地域の活動拠点であるコミュニティ会館、学校では、生き生きと活動する区民の姿が引き立つ、親しみのある景観を育てます。
- ・区内の東西を結ぶ重要な結節点となっている新中川に架けられた明和橋や大杉橋などの橋梁を、地域のランドマークとして景観まちづくりに活かします。



江戸川区役所

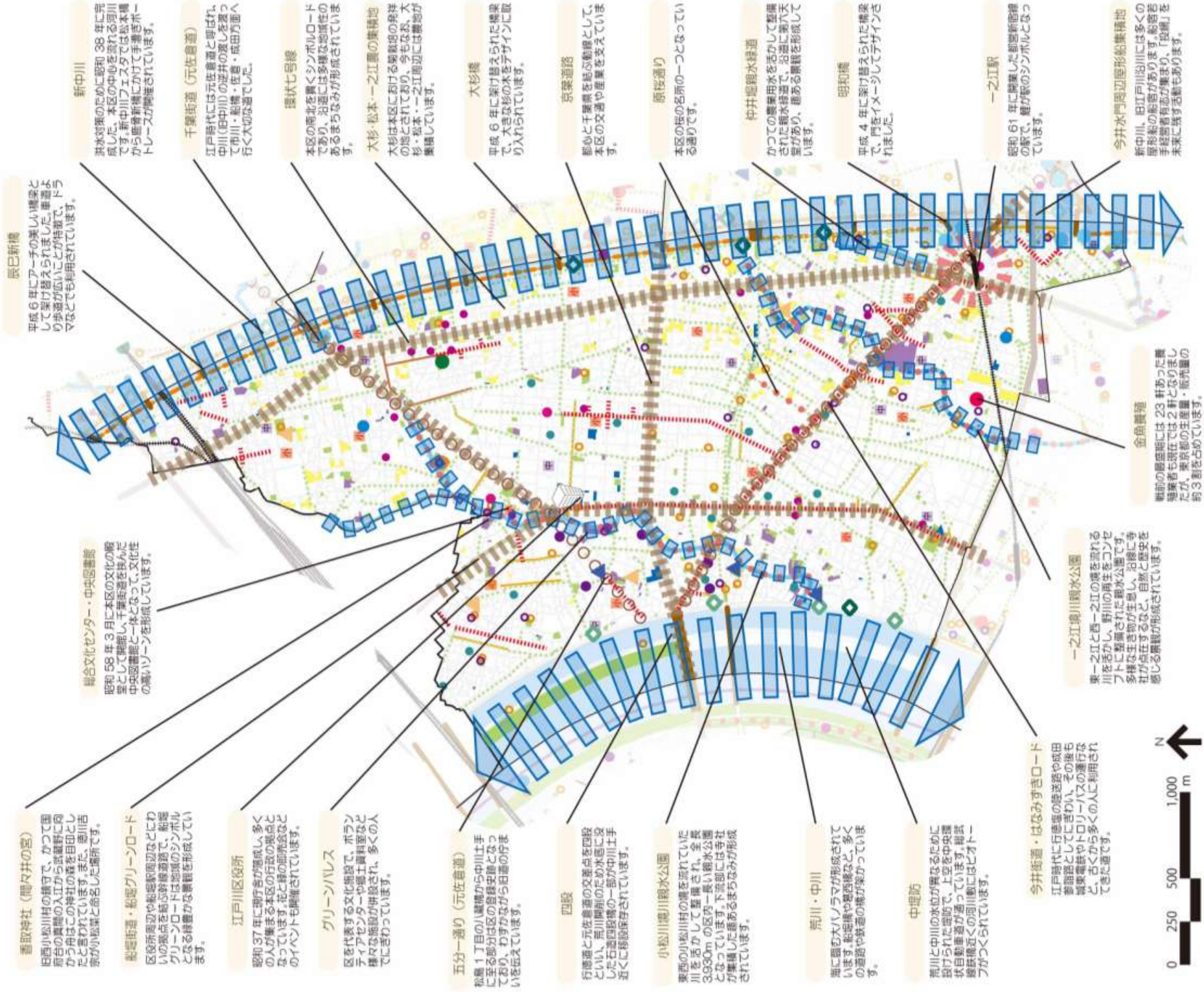
4) 人々が集い多様な文化が生まれる景観

- ・新中川フェスタでのレガッタや、総合文化センターでの江戸川区特産バラ品評展示会、区役所での花と緑の即売会など、四季を通じたイベントによるにぎわいある景観を育てます。
- ・駅周辺だけでなく沿道の商業地や地域に根付いた商店街が、人が集まり、交流する場として、安心して歩いて楽しめるよう、にぎわいのある景観を育てます。
- ・農業や工業、金魚養殖、屋形船など地域産業を景観まちづくりに活かします。
- ・小松川境川親水公園、一之江境川親水公園をはじめとした身近な公園・緑地等を活かして安心して遊び学べる環境をつくり、子どもたちの元気な姿がまちのあちこちで見られる景観を育てます。



新中川フェスタ

(3) 景観まちづくり方針図



葛西地域

(1) 景観まちづくりのテーマ

海辺のまちとして、新しい中にかつての風景が息づく景観まちづくり

葛西地域は、新川以南のほぼ全域における土地区画整理事業や海面埋立等により、都市計画道路や大規模公園等の基幹的都市施設が整備されるとともに、住宅地としての開発が進み、次々と共同住宅が建設されるなど、水と緑豊かな「新しいまち」として生まれ変わりました。一方で、寺社が集積する東葛西二丁目付近のまちなみや、雷の大般若などの伝統的な祭、埋立前の海岸線の面影を残す海岸堤防など、農業や漁業を中心とした、かつての葛西の風景が断片的に残っており、新しい中に歴史が息づくまちとなっています。

このような海とともに発展してきた海辺のまちとして、かつての葛西の風景を大切にするとともに、多様なレクリエーション機能を持つ水と緑を活かし、「海辺のまちとして、新しい中にかつての風景が息づく景観まちづくり」を進めます。

《葛西地域の特性》

● 二之江・船堀地区

概ね新大橋通りから新川までの地区で、船堀駅周辺等に中高層の商業施設が建ち並ぶほか、一之江境川親水公園以東は、主として低層住宅地となっており、古川親水公園沿線では大きな敷地を有する屋敷も多い地区です。

● 宇喜田・葛西地区

新川以南から旧海岸堤防までの地区で、江戸時代に新田開発が進んだ地域です。現在は主に戸建て住宅と共同住宅が混在するまちなみとなっており、にぎわいの拠点として、西葛西駅と葛西駅があります。

● 清新町・臨海町地区

清新町・臨海町における葛西沖土地区画整理事業の海面埋め立てにより造成された地区で、高層の大規模団地や流通業務団地、大規模公園が建設されました。道路で囲まれた街区が全体的に大きく、親水公園や街路樹など豊かな水と緑が計画的に配置されています。

(2) 景観まちづくりの方針

基本方針にもとづき、葛西地域の景観まちづくりの方針を以下にまとめます。

1) 海・河川・緑道が一体となった水と緑の景観

- ・荒川・中川、旧江戸川、臨海の空と海、河川が一体となり、多様な生きものが生息する自然のパノラマを活かします。
- ・宇喜田公園・行船公園、葛西臨海公園・葛西海浜公園、総合レクリエーション公園など、都市の中で緑に囲まれた開放感あふれる貴重なオープンスペースを活かし、多世代が憩う景観を守り育てます。
- ・共同住宅の玄関付近やベランダ、屋上など、身近な緑の景観を育てます。
- ・公園・広場・ポケットパークなどの公共空間を「地域の庭」として活用し、身近な花や緑の景観を育てます。
- ・農地が点在し、比較的緑の多い地域では、大木や農地など、緑豊かな景観を守り、育てます。
- ・臨海、大川、親水公園、親水緑道などの様々な水辺や、街路樹や緑道、フラワーガーデンや葛西臨海公園の緑など、豊かな水と緑の環境を活かし、四季を通じて楽しめる水と緑のネットワークを拡充します。



葛西臨海公園

2) 海辺のまちとして発展した歴史を感じる景観

- ・漁業や海苔生産など、かつての葛西沖で営まれた漁村としての歴史を活かします。
- ・寺社が集積する東葛西二丁目付近の歴史的・文化的資源を活かします。
- ・寺社が集積する古川親水公園沿線の歴史的・文化的資源を活かします。
- ・江戸と行徳を結ぶ水運の大動脈として利用された新川の歴史を活かした江戸情緒のある景観まちづくりを進めます。
- ・水田や蓮田が広がっていた時代の人々の生活を支えてきた陣屋橋通りや新田仲町通り、雷通りなどの旧道の歴史を活かします。
- ・寺社や石碑、伝統行事や風習など葛西地域の歴史や文化を伝える資源を活かした景観まちづくりを進めます。



雷の大般若

3) 整ったまちに中高層住宅の調和のとれたまちなみの景観

- ・船堀駅、西葛西駅、葛西駅では、地域の玄関口として駅周辺のにぎわいの景観を育てます。
- ・なぎさニュータウン、清新町・臨海町など、緑豊かでゆとりのある大規模団地の景観を活かします。
- ・都営地下鉄新宿線、東京地下鉄東西線、JR 京葉線の車窓からの景観を意識したまちなみをつくります。
- ・環状七号線、新大橋通り、放射 16 号線（清砂大橋通り）、船堀街道など、本区の顔として、幹線道路の風格あるまちなみを整えます。
- ・多くの人が集まるタワーホール船堀や葛西事務所などの公共施設の景観の質を高め、文化を発信するにぎわいの景観づくりを進めます。
- ・地域の活動拠点であるコミュニティ会館、学校では、生き生きと活動する区民の姿が引き立つ、親しみのある景観を育てます。



船堀グリーンロード

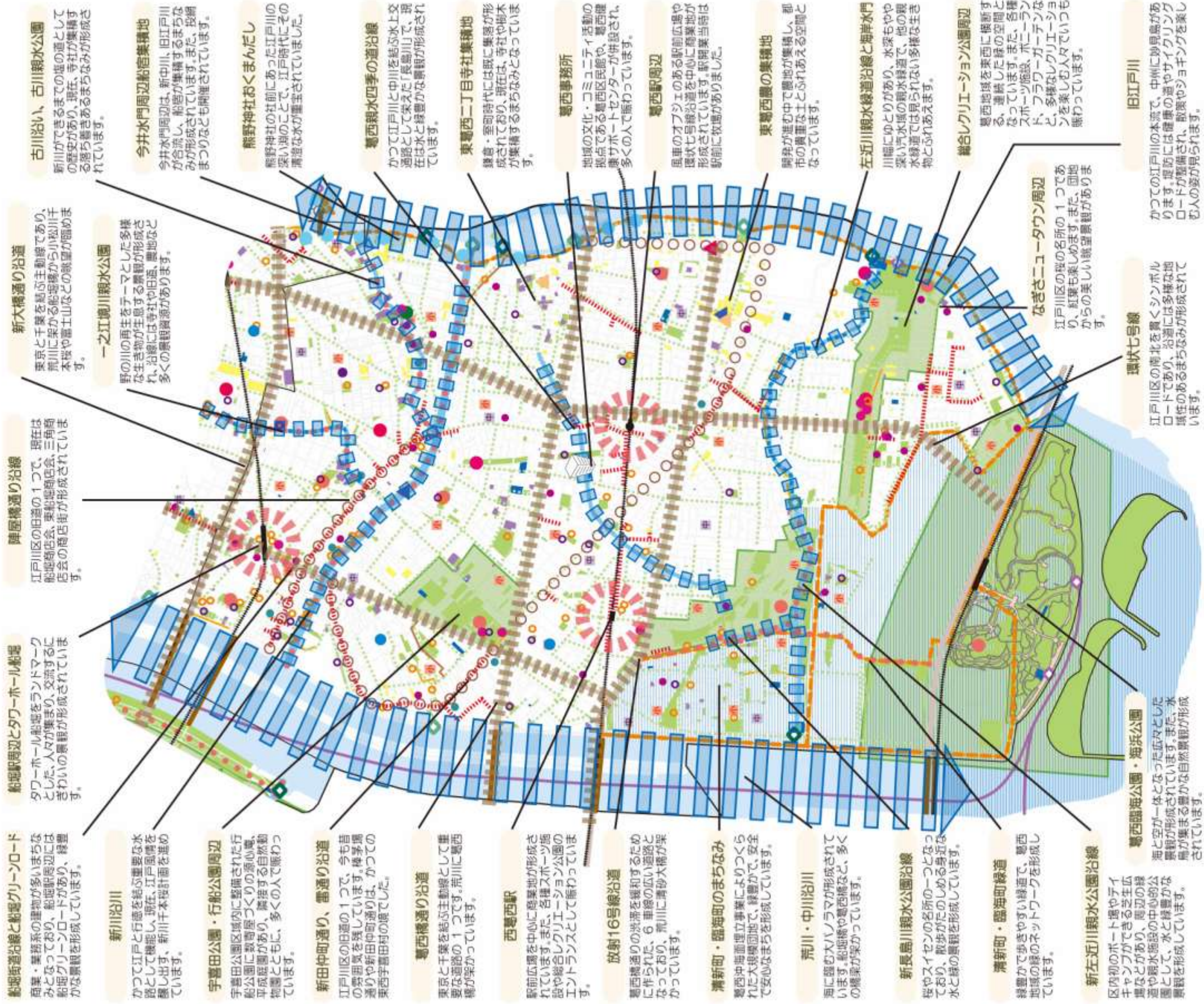
4) 若さと活気にあふれた躍動感ある景観

- ・バラやサクラ、ハーブなど花を通じたイベントにより、人が楽しみ、交流するにぎわいの景観を拡充します。
- ・駅周辺だけでなく、団地内や旧道沿い、幹線道路沿いなどの商店街では、人が集まり、交流する、にぎわいのある景観形成を進めます。
- ・農業、金魚養殖、屋形船など、地域ならではの産業を景観まちづくりに活かします。
- ・多様な水と緑を活かして、安心して遊び、学べる環境をつくり、子どもたちの元気な姿がまちのあちこちで見られるにぎわいの景観を育てます。



金魚養殖

(3) 景観まちづくり方針図



小岩地域

(1) 景観まちづくりのテーマ

古い歴史の中に暮らしの温もりとにぎわいのある景観まちづくり

弥生時代後期に人が住み始めた上小岩遺跡があり、両国、本所から平井を経て下総の国へ至る元佐倉街道、岩槻街道の交通の要衝として集落が形成されるなど、本区の中でも最も古い歴史を持つ地域で、影向の松のある善養寺や多くの著名人の墓がある万福寺など、閑静な住宅地の中に歴史的資源が多く分布しています。

また、小岩駅周辺にはフラワーロードや地藏通りなど様々な商店街や、路地が入り組む下町らしい風情のあるまちなみが形成されています。

このような、約1800年にも及ぶ古い歴史を持つ特性と、個性ある魅力的な商店街や親しみある路地、閑静な住宅街などがつくりだす限界性を活かし、「古い歴史の中に暮らしの温もりとにぎわいのある景観まちづくり」を進めます。

《小岩地域の特性》

●北小岩地区

柴又街道から江戸川、JR 総武線以北の地域で、上小岩親水緑道などの親水緑道が整備され、周辺には農地も点在しており、一部に木造密集地もありますが、比較的水と緑豊かな良好な住環境がある地域です。

●西小岩地区

新中川から柴又街道の間の、JR 総武線以北の葛飾区と隣接する地域で、比較的早い時期から市街化が進み、街区が不整形で幅の狭い道が多い地域です。

●南小岩地区

新中川から柴又街道の間の JR 総武線以南の地域で、行き止まりの道が多く、木造住宅が密集しています。駅前を中心とした区内一の商店街を形成しています。

●東小岩地区

柴又街道から江戸川の間の JR 総武線以南の地域で、点在する農地が次第に宅地に転換されてきており、低層住宅地のまちなみが形成されています。

(2) 景観まちづくりの方針

基本方針にもとづき、小岩地域の景観まちづくりの方針を以下にまとめます。

1) 大川川とまちなかの緑がつながる水と緑の景観

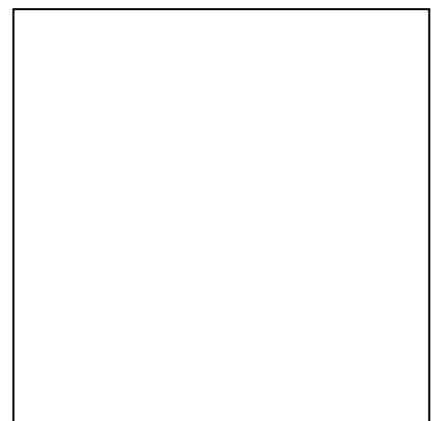
- ・江戸川河川敷のオープンスペースや対岸の国府台の緑と一体となった広大な水と緑、新中川の空と水が一体となった眺望を活かした、自然のパノラマ景観を保全します。
- ・江戸川河川敷の多様なレクリエーションを楽しむ人々ににぎわう水と緑の景観を守り育てます。
- ・これまで多くのボランティアにより育まれた小岩菖蒲園をより魅力的な花の名所として育てます。
- ・沿道の生垣や玄関先の花壇づくり、建物緑化など、スペースを有効に活用しながら日々の暮らしの中で潤いや四季を感じさせてくれる身近な花や緑、地域に点在する大木を育てます。
- ・公園・広場・ポケットパークなどの公共空間を「地域の庭」として活用を進め、身近な花や緑の景観を育てます。
- ・江戸川や新中川をはじめ、親水緑道やかつての用水路跡を活用した緑道などをつなぎ、人々が集い、親しめる水と緑のネットワークを拡充します。



江戸川河川敷

2) 約1800年に及ぶ小岩の記憶を活かした景観

- ・上小岩遺跡など、区内ではじめて人が住み着いたと言える小岩の古い歴史を活かした景観まちづくりを進めます。
- ・房総と江戸を結ぶ江戸川を渡る小岩市川の渡しとその付近の御番所町跡周辺の資源を活かし、歴史を感じる景観づくりを進めます。
- ・かつて人々が往来し、にぎわった千葉街道、篠崎街道、佐倉街道など旧道の資源を活かし、歴史を今に伝える景観まちづくりを進めます。
- ・善養寺や影向の松をはじめ、点在する寺社や石碑、無形民俗文化財等の歴史的・文化的資源を活かした景観まちづくりを進めます。



上小岩遺跡

3) 閑静と親しみを活かしたまちなみの景観

- ・ JR総武線小岩駅や京成小岩駅周辺など、まちの顔となるにぎわいのあるまちなみの景観をつくります。
- ・ 住宅地や寺社に残る大木や屋敷林など、緑豊かな住宅地のまちなみを守り、育てます。
- ・ 地域の人々が路地園芸や井戸端会議を楽しむ、親しみある景観を活かします。
- ・ 京成電鉄京成線、JR総武線の車窓からの景観を意識したまちなみをつくります。
- ・ 蔵前橋通り、千葉街道、柴又街道など区の顔として風格ある幹線道路のまちなみを整えます。
- ・ 多くの人が集まる小岩アーバンプラザや小岩事務所は、文化の発信拠点としてにぎわいのある景観をつくります。
- ・ 地域の活動拠点であるコミュニティ会館、学校では、生き生きと活動する区民の姿が引き立つ、親しみのある景観を育てます。
- ・ 区内の東西を結ぶ重要な結節点となっている新中川に架けられた辰巳新橋などの橋梁を、地域のランドマークとして景観まちづくりに活かします。



上小岩親水緑道沿いの住宅地

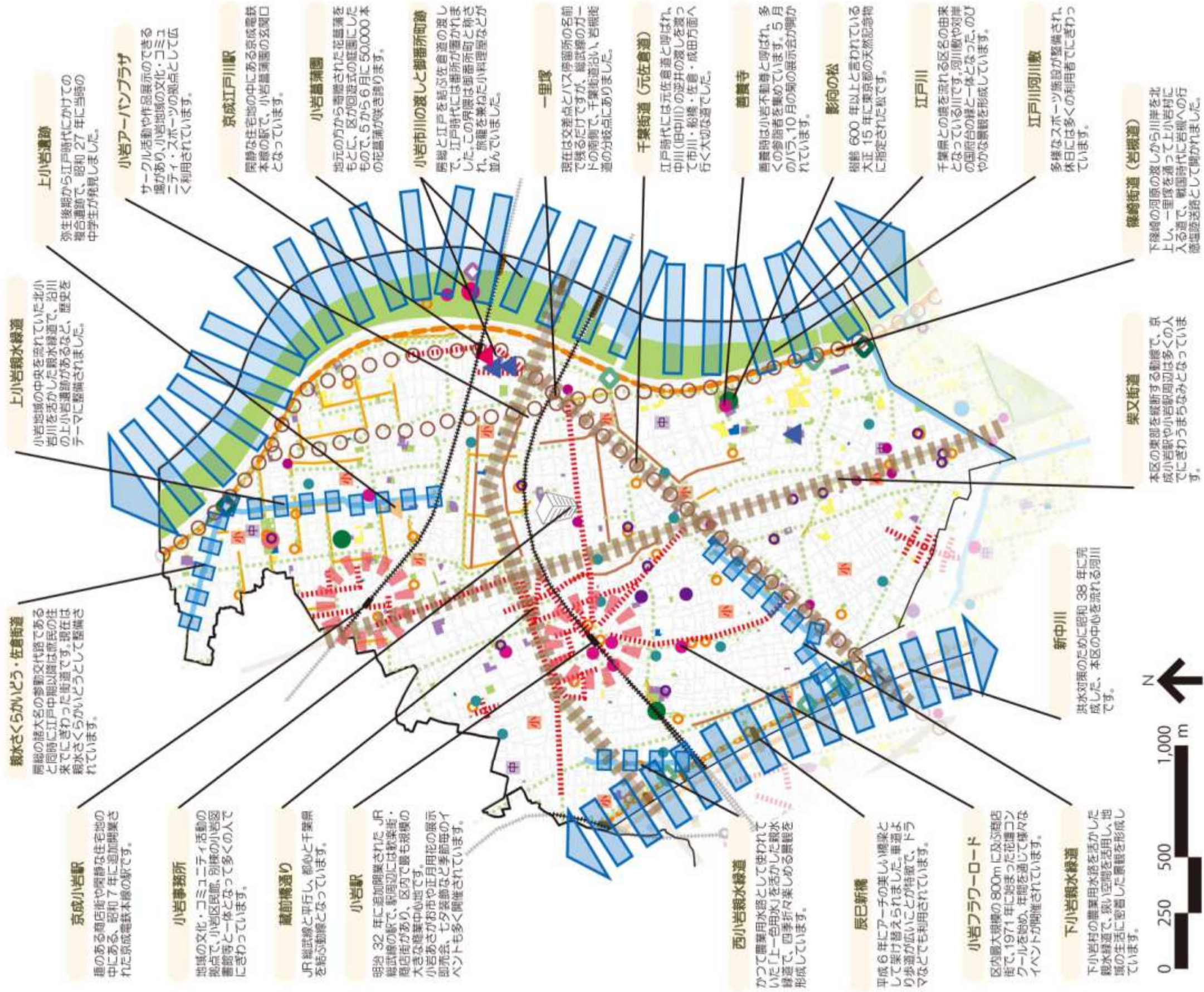
4) 個性ある魅力的な商店によるにぎわいを生み出す景観

- ・ 小岩フラワーロード花壇コンクールや、江戸川河川敷での小岩菖蒲園まつり、善養寺の「影向菊花大会」など、花を通じたにぎわいある景観まちづくりを進めます。
- ・ 駅周辺だけでなく、団地内や旧道沿い、幹線道路沿いなどの商店街では、人が集まり、交流する、にぎわいのある景観形成を進めます。
- ・ 安心して遊び、学べる環境をつくり、子どもたちの元気な姿がまちのあちこちで見られるにぎわいの景観を育てます。



小岩フラワーロード

(3) 景観まちづくり方針図



鹿骨地域

(1) 景観まちづくりのテーマ

農の風景の中で、暮らしの文化が育つ景観まちづくり

鹿骨地域は新中川より東から江戸川まで、鹿本親水緑道及び興農親水緑道以南から京葉道路にかけての地域です。

かつては、水田の広がる田園地帯であり、鹿骨、新堀、上篠崎地区を中心に集落が形成されていましたが、その後鹿骨街道や鹿本通り周辺に市街化が進行しました。

昭和4年に農業試験場が建設され、農業振興の拠点となり、今も周辺には花卉や小松菜を栽培する農地が集積するほか、仕立てた生垣や樹木が植えられている農家住宅が多く分布しています。

また、篠崎公園の区民まつり、江戸川河川敷の花火大会、コミュニティセンター、えどがわ人生総合大学など篠崎駅に集積する多様な区民が交流する施設など、鹿骨地域は暮らしの中で育まれる文化の発信拠点となっています。

このような本区の原風景とも言える農の風景と、暮らしの中で育まれる文化を活かし、「農の風景の中で、暮らしの文化が育つ景観まちづくり」を進めます。

(2) 景観まちづくりの方針

基本方針にもとづき、鹿骨地域の景観まちづくりの方針を以下にまとめます。

1) 花を活かした彩りある水と緑の景観

- ・空と河川が一体となった江戸川や新中川の自然のパノラマ景観を活かします。
- ・ウォーキングや野球などのレクリエーションや、区民祭や花火大会などのイベントや催しなど多世代が憩う篠崎公園や江戸川河川敷の景観を守り育てます。
- ・篠崎公園、浅間神社、江戸川が一体となって、緑豊かな景観を守り、育てます。
- ・沿道の生垣や玄関先の花壇づくり、建物緑化、大木や農地の保全など、緑豊かな景観を育てます。
- ・公園・広場・ポケットパークなどの公共空間を「地域の庭」として活用を進めます。
- ・農地が点在し、比較的緑の多い地域では、大木や農地の保全、生垣緑化を進め、緑豊かな景観を守り、育てます。
- ・江戸川や新中川、親水緑道や街路樹、篠崎公園や農の集積地などの緑の拠点を活かし、人々が集い親しむ水と緑のネットワークを拡充します。



篠崎公園

2) 鹿骨の地が育んできた歴史・文化を感じる景観

- ・「せんげんさまの森」として親しまれている浅間神社とその周辺の篠崎公園や江戸川河川敷と一体となった歴史を感じる景観を守り、育てます。
- ・戦国時代に岩槻への行徳塩の陸送路として開かれたという篠崎街道（岩槻道）や、鹿骨街道などの旧道の歴史を活かします。
- ・鹿骨村の鎮守でマタギ建て行事が行われている鹿島神社、鹿骨地名の伝説の地である鹿見塚、上篠崎の妙勝寺など、寺社や石碑、風俗習慣等の資源を活かします。



鹿島神社

3) 農が点在する落ち着いたまちなみの景観

- ・地域の玄関口として、人々が交流するにぎわいある篠崎駅周辺のまちなみを育てます。
- ・花卉栽培や野菜生産の農地が多く集積している東京都農林総合研究センター江戸川分場及び鹿骨事務所周辺の農地の集積地を活かし、緑豊かでのどかな雰囲気を大切にした景観まちづくりを進めます。
- ・京葉道路や柴又街道など、区の顔として風格ある幹線道路のまちなみを整えます。
- ・多くの人が集まる鹿骨事務所は、文化の発信拠点としてにぎわいのある景観をつくります。
- ・地域の活動拠点であるコミュニティ会館、学校では、生き生きと活動する区民の姿が引き立つ、親しみのある景観を育てます。
- ・区内の東西を結ぶ重要な結節点となっている新中川に架けられた大杉橋などの橋梁を、地域のランドマークとして景観まちづくりに活かします。



鹿骨の農地

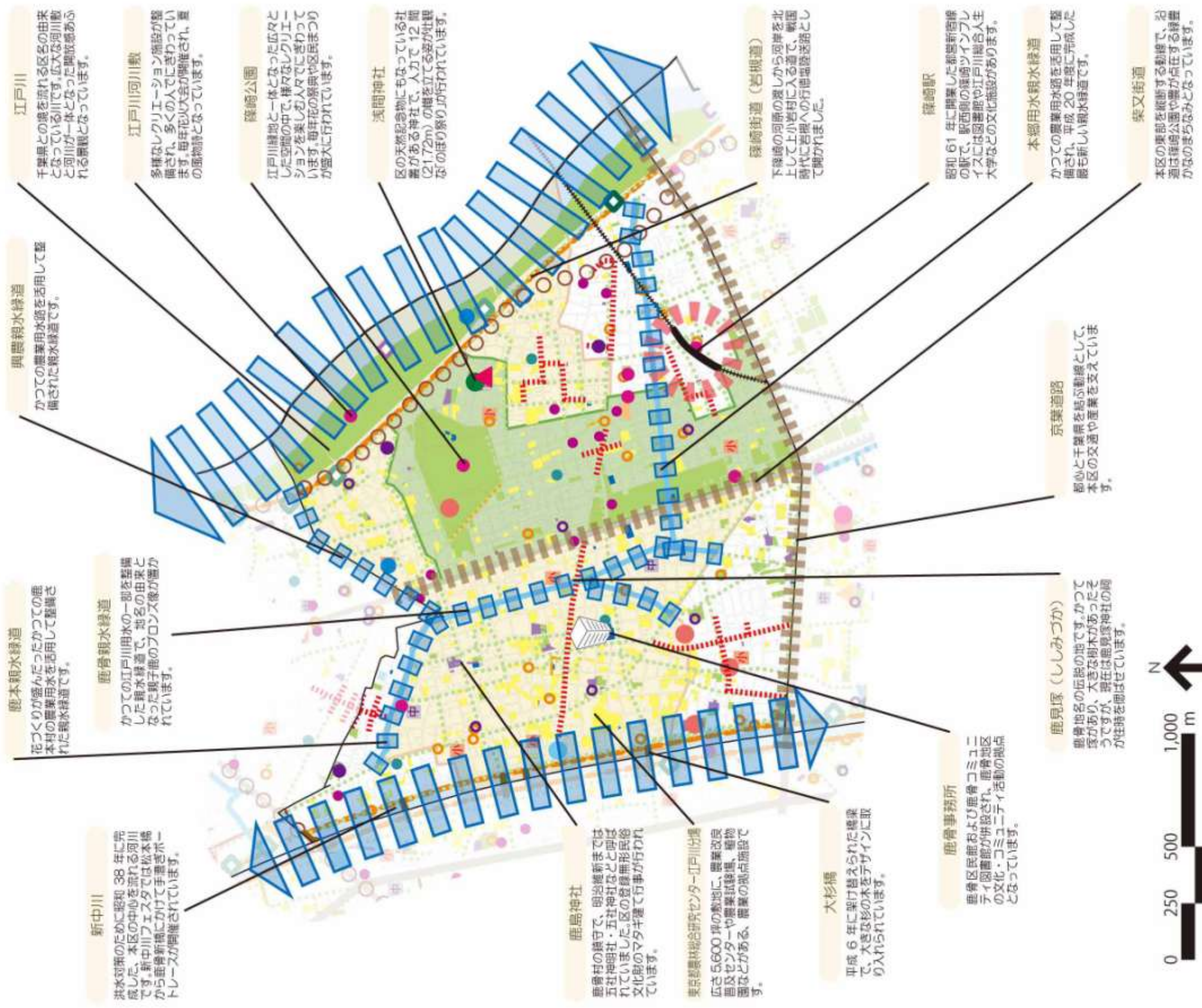
4) 四季を通じて人々が集いふれあう景観

- ・篠崎公園における区民まつり、江戸川河川敷の花火大会、新中川でのレガッタなど、水辺のイベントを活かし、にぎわいある景観まちづくりを進めます。
- ・駅周辺だけでなく、旧道沿いや幹線道路沿いなどの商店街では、人が集まり、交流する、にぎわいのある景観形成を進めます。
- ・江戸時代より名産となっていた小松菜の栽培や、大杉や瑞江でも栽培されてきた花卉栽培など、地域産業を活かした景観まちづくりを進めます。
- ・篠崎公園や親水緑道、身近な公園など、多様な遊び場を活かし、安心して遊び、学べる環境をつくり、子どもたちの元気な姿がまちのあちこちで見られるにぎわいの景観を育てます。



花卉栽培

(3) 景観まちづくり方針図



東部地域

(1) 景観まちづくりのテーマ

豊かな水と緑に囲まれた、歴史を感じる景観まちづくり

東部地域は、新中川以東及び京葉道路以南の区域で、篠田堀親水緑道をはじめとした4本の親水緑道が流れています。

明治時代までは、水田の広がる田園地帯で、篠崎街道沿いは塩づくりが行われていた対岸の行徳地域と共に栄えていました。特に、今井周辺は、行徳街道(現今井街道)と旧江戸川の交差点であり、交通の要衝でした。

その後、昭和30年後半から農地の宅地化が進み、現在は、一部に農地が残っていますが、都営地下鉄新宿線瑞江駅周辺にある中高層のまちなみ以外は、ほぼ低層の住宅地のまちなみが形成されています。

また、地域内には安永年間に再建された姿を残す一之江名主屋敷や、歴代の歌舞伎役者が眠る大雲寺、江戸川水門周辺の桜並木などの歴史を感じる資源が点在しています。

このような豊かな水と緑、歴史的背景や資源を活かし、「豊かな水と緑に囲まれた、歴史を感じる景観まちづくり」を進めます。

(2) 景観まちづくりの方針

基本方針にもとづき、東部地域の景観まちづくり方針を以下にまとめます。

1) 大河川と親水緑道に囲まれた豊かな水と緑の景観

- ・空と河川が一体となった旧江戸川や新中川の自然のパノラマ景観を活かします。
- ・篠崎公園や旧江戸川河川敷など、多様なレクリエーション施設を活かして多世代が憩う景観を守り育てます。
- ・篠崎堤やグラウンド等が一体となったにぎわいが生まれるよう、江戸川大橋から江戸川水門一帯の水と緑の拠点を育てます。
- ・新中川と旧江戸川が合流する今井水門周辺の水と緑の拠点を育てます。
- ・沿道の生垣や玄関先の花壇づくり、建物緑化、大木や農地の保全など、緑豊かな景観を育てます。
- ・公園・広場・ポケットパークなどの公共空間を「地域の庭」として活用を進めます。
- ・旧江戸川や新中川、親水緑道や街路樹、篠崎公園や瑞江葬儀場、江戸川水門周辺などの緑の拠点を活かし、人々が集い親しむ水と緑のネットワークを拡充します。



緑豊かな瑞江葬儀所

2) かつての田園地帯の面影を活かした歴史・文化の景観

- ・かつて今井の渡しがあったことで多くの人々の往来のあった江戸川三丁目周辺の寺社集積地の景観を守り育てます。
- ・歌舞伎役者の墓が多く「役者寺」とも言われる大雲寺や緑が多く、趣のある景観が形成されている瑞江葬儀所周辺の歴史的・文化的景観を守り育てます
- ・古い江戸川堤防の本堤を街道として使っていた篠崎街道などの旧道の歴史を活かします。
- ・江戸時代の名主屋敷としての面影を今に伝える貴重な一之江名主屋敷周辺の雰囲気を守り育てます。
- ・江戸川水門やその周辺の篠崎水門の桜などの資源を活かします。
- ・笹だんご行事が行われている八雲神社、今井の渡し跡など、地域内に点在する多くの寺社や石碑、無形民俗文化財等の歴史的・文化的資源を活かします。



江戸川水門

3) 低層住宅が広がる伸びやかなまちなみの景観

- ・地域の玄関口として、人々が交流するにぎわいある瑞江駅周辺のまちなみを育てます。
- ・緑の多い低層の建物が主体の住宅地が広がっている地域では、この環境を活かし、ゆとりある住宅地のまちなみを守り、育てます。
- ・地域の人々が路地園芸や井戸端会議を楽しむ、親しみある景観を活かします。
- ・京葉道路や柴又街道など、区の顔として風格ある幹線道路のまちなみを整えます。
- ・多くの人が集まる東部フレンドホールや東部事務所は、文化の発信拠点としてにぎわいのある景観をつくります。
- ・地域の活動拠点であるコミュニティ会館、学校では、生き生きと活動する区民の姿が引き立つ、親しみのある景観を育てます。
- ・区内の東西を結ぶ重要な結節点となっている新中川に架けられた明和橋や大杉橋などの橋梁を、地域のランドマークとして景観まちづくりに活かします。



瑞江駅

4) 水辺のレクリエーションと産業を活かしたにぎわいの景観

- ・駅周辺だけでなく、旧道沿いや幹線道路沿いなどの商店街では、人が集まり、交流する、にぎわいのある景観形成を進めます。
- ・篠崎三丁目に集積する農地や、今井水門周辺に集積する屋形船をはじめ、風鈴、みとらずの稲田、造船所など、江戸川らしい貴重な産業を活かした景観まちづくりを進めます。
- ・篠田堀親水緑道や竹と親しむ広場、実のなる木の公園など、多様な遊び場を活かし、安心して遊び、学べる環境をつくり、子どもたちの元気な姿がまちのあちこちで見られるにぎわいの景観を育てます。



新中川の屋形船

(3) 景観まちづくり方針図

